

新型コロナウイルス感染症対策に係る 熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

1 リスクレベル判定指標

指標	前週（7月13日）	今週（7月20日）
最大確保病床使用率	44.4%	54.9%
最大確保重症病床使用率	5.9%	7.4%

前回（7月15日発表）	今回（7月22日発表）
レベル2	レベル2

2 感染概況と注意が必要な地域

	前週（7月13日）	今週（7月20日）
新規感染者数	12,220人	16,748人
感染の傾向	強い増加傾向にある	強い増加傾向にある

本県の新規感染者数は、強い増加傾向にあります。県内の概ね全域で感染者が増加しています。また、全年齢で感染が拡大しており、経路不明・家庭内感染が引き続き多い状況と考えられることから、誰もがどこで感染してもおかしくない状況です。

注意が必要な地域 (保健所管轄地域)	熊本市、有明、山鹿、菊池、阿蘇、御船、宇城、八代、人吉
-----------------------	-----------------------------

3 県民の皆様へのお願い

三つの密のある場所に行くことはできるだけ控え、基本的な感染防止対策の再徹底をお願いします。高齢者等の重症化リスクが高い方との接触時には、特にご注意ください。

医療機関への負荷が高まっている状況を踏まえ、平日の昼間の診療時間内に受診をするなど、適正な受診に御協力をお願いします。

少しでも症状のある方は仕事等を休み、周りの方との接触を避けて下さい。また、帰省される場合は、事前にワクチン接種や検査を受けていただくほか、県外からの帰省等がある場合は、同じ対応を働きかけていただきますようお願いいたします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：錦戸、横山、中満、吉岡
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933

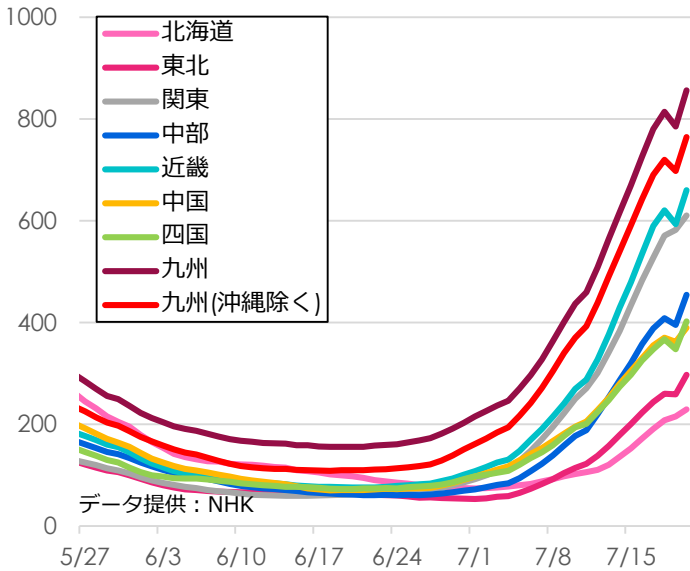
熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）7月22日】

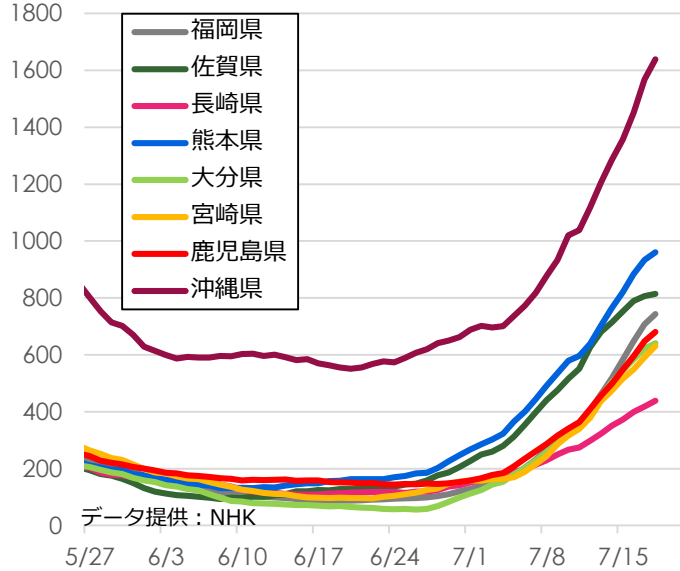
1 熊本県における現状認識

(1) 新規感染者数の状況

全国の感染者数推移
(地方ごと・人口あたり週感染者数)

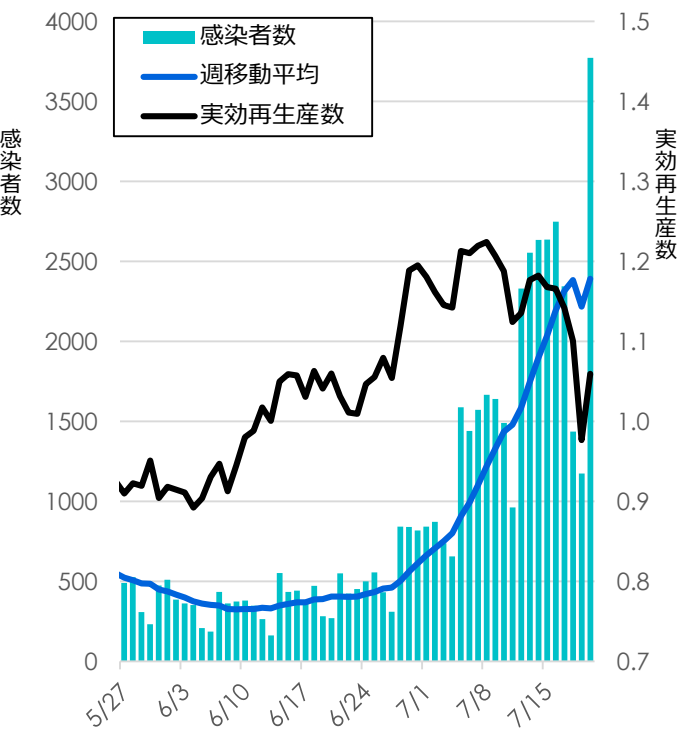


九州の感染者数推移
(人口あたり週感染者数)

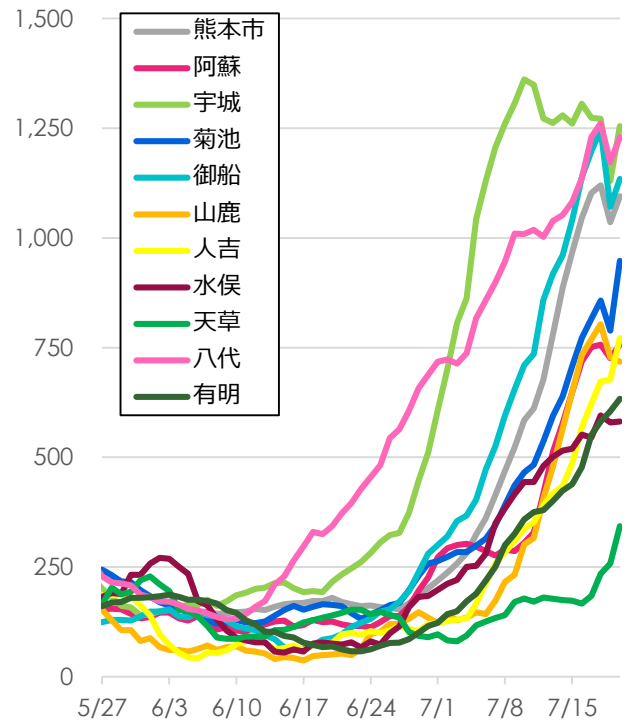


感染者数は、全国的に急速な増加傾向が継続し、これまでに最も高い感染レベル。

本県の感染数推移と実効再生産数



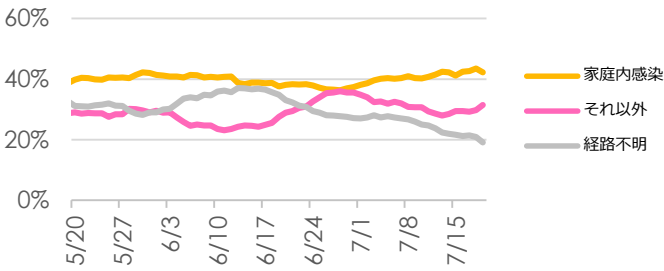
保健所ごとの人口10万人当たり週感染者数推移



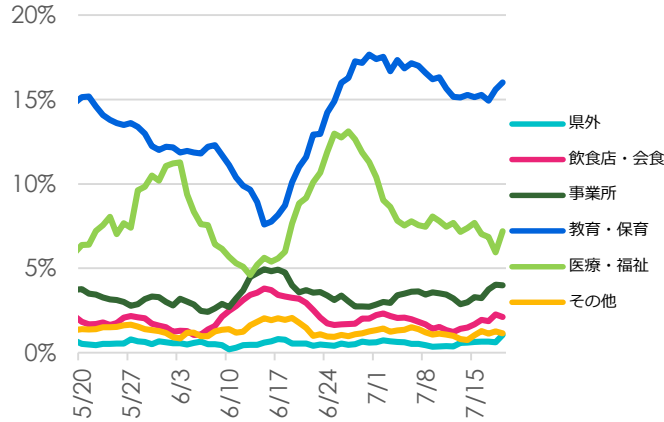
本県の7月14日から7月20日までの新規感染者数は16,748人(前週は12,220人)。休日の影響で増減が大きいですが、実効再生産数は7月20日の時点で1.06と1を超えており、増加傾向は継続。全地域において感染者の増加が見られている。

(2) 感染の態様

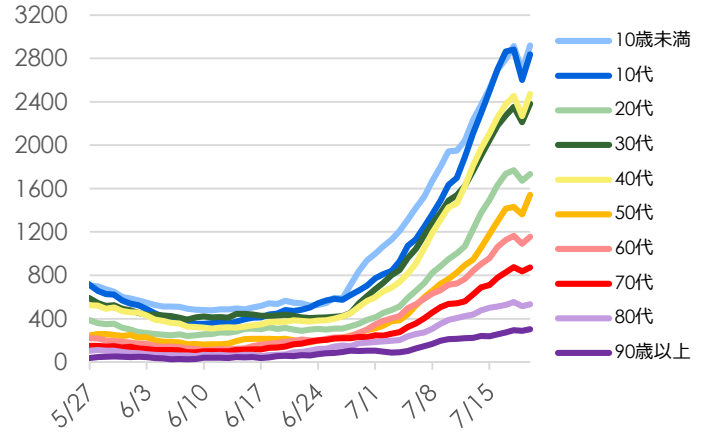
【参考】感染者の感染経路割合推移(7/19まで)
調査中のものを除く



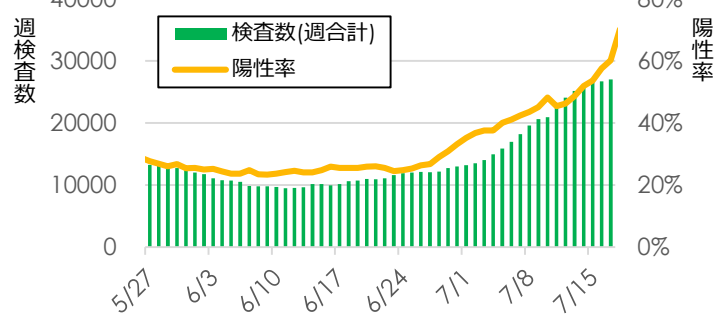
上グラフの「それ以外」の内訳



年齢階級別分布(週合計)



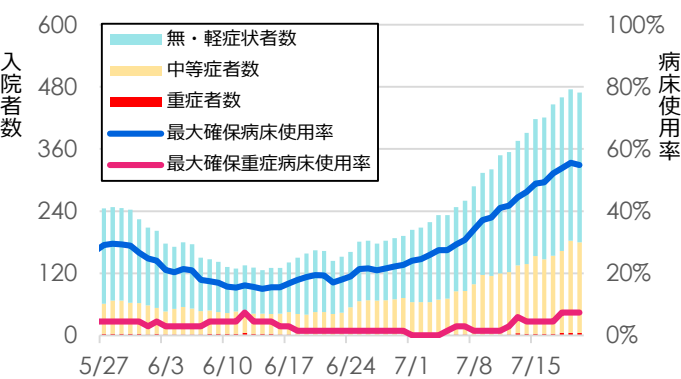
週の検査数と検査陽性率



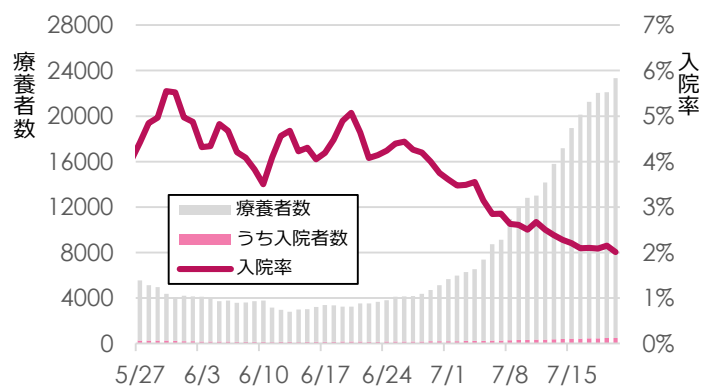
全年齢で拡大。感染経路を追跡することは困難になっているが、経路不明感染、家庭内感染が多い状況である可能性が高く、誰もがどこでも感染しうる状況。
7/14~19日の感染経路は、調査の完了した2,305件からの推定(全体の17.8%)であるため、あくまで参考情報。

(3) 病床等の状況

入院者の症状別推移



療養者数と入院率

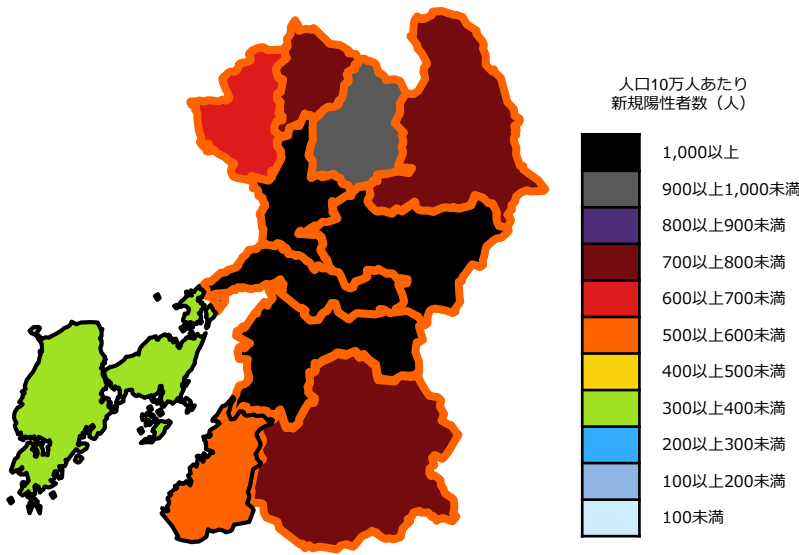


7月20日時点の病床使用率は54.9%、重症病床使用率は7.4%と、先週からそれぞれ10.5ポイント、1.5ポイントの増加で、医療への負荷が非常に強まっている。入院率は2%程度の状況。

(4) リスクレベル判定

	7月20日	レベル0 感染ゼロ	レベル1 維持すべきレベル	レベル2 警戒強化レベル	レベル3 対策強化レベル	レベル4 避けたいレベル
病床使用率	54.9%	県内で継続的な感染が起っていない	—	20%	50%	最大確保病床数を越えた数の入院が必要
重症病床使用率	7.4%		—	—	50%	

(5) 注意が必要な地域の概況



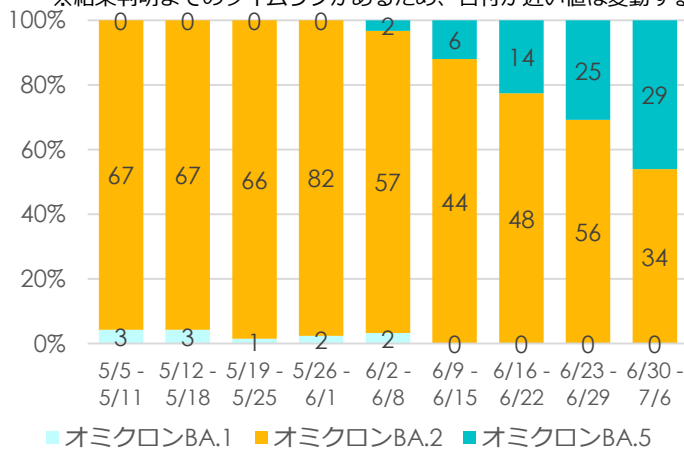
保健所名	7/14~7/20	
	新規陽性者数	人口10万人※ ¹ あたり
熊本市保健所	8,090	1094.9
有明保健所	975	633.7
山鹿保健所	352	718.0
菊池保健所	1,769	947.4
阿蘇保健所	444	756.3
御船保健所	930	1134.2
宇城保健所	1,287	1255.0
八代保健所	1,650	1229.9
水保保健所	253	581.7
人吉保健所	629	772.0
天草保健所	369	343.4

※1 各保健所管内の人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく

有明、山鹿、菊池、阿蘇、人吉保健所管内：人口10万人当たりの感染者数が500を超えているほか、前週今週比が1.5以上であり、急増している。
熊本市、御船、宇城、八代保健所管内：人口10万人当たりの感染者数が1,000を超えている。

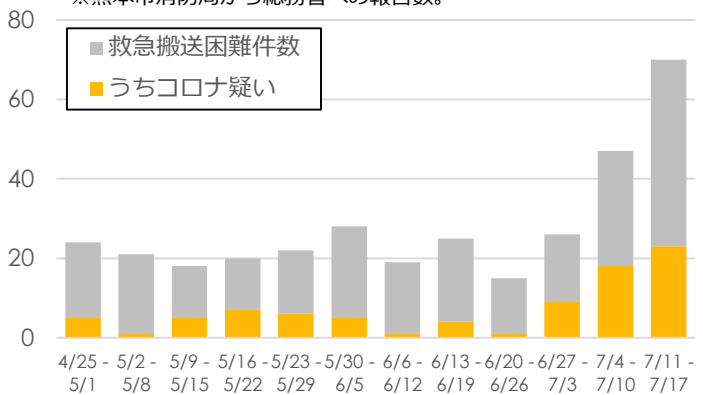
【参考】ゲノム解析の結果概要

※結果判明までのタイムラグがあるため、日付が近い値は変動する。



【参考】救急搬送困難件数

※熊本市消防局から総務省への報告数。



【参考】医療提供体制、感染状況に関する参考指標

時点	医療負荷の参考指標					感染状況の参考指標					
	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	救急搬送困難件数 (うちコロナ疑い)※2	必要病床数予測※3			検査陽性率	感染経路 不明割合	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
7月20日	23,344人	2.0%	5人	175人	70 (23)	1,024	2,080	3,154	70.4%※4	23.4%※5	1.4
7月13日	15,788人	2.4%	4人	131人	47 (18)	742	1,855	3,496	54.3%	24.7%	1.8
7月6日	8,721人	2.8%	2人	83人	26 (9)	456	1,072	2,028	46.5%	27.6%	1.8
6月29日	4,700人	4.0%	1人	69人	15 (1)	293	522	784	33.3%	27.8%	1.4
6月22日	3,530人	4.1%	1人	40人	25 (4)	184	302	378	27.3%	31.4%	1.1
6月15日	3,020人	4.3%	3人	38人	19 (1)	164	245	298	27.9%	36.2%	1.1
6月8日	3,600人	4.1%	3人	45人	28 (5)	159	173	150	25.5%	35.1%	0.8
6月1日	4,183人	5.0%	2人	56人	22 (6)	209	242	214	26.9%	28.8%	0.8

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上(174人)の場合に適用。

※2 その時点で消防庁にて公表されている直近1週間の熊本市消防局の値。

※3 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール(国立感染症研究所)の短期予測を用い、本県のデータを用い算出。(感染が急激に増加する場合は、パラメータを調整する必要がある)

※4 新規感染者数(公表日ベース)及び県内の全検査数の1週間合計より算出。

※5 調査が完了した2,305名の調査結果から算出したもの。調査が完了していない事例(リンクが判定されていない)14,443名分は分母に含まれない。

(保健所業務が逼迫しており、感染経路についての疫学情報が十分に得られない状況)

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (7月21日現在)

- 熊本県の増加傾向は継続している。入院率は2.0%程度にまで減少しているが、感染者数がこれまでになく増加しているため、病床への負荷は高まっている。
- なお、現在医療機関におけるクラスターの発生や、医療従事者自身の感染・家族の感染による濃厚接触者としての待機等があり、すべての病床が使用できるわけではない。現場は、病床使用率の数値以上に厳しい状況にある。
- 現在、国は強い行動制限をする状況にないとしており、こうした状況で日本が感染拡大を迎えるのは初めてである。そのため、この感染拡大がどの程度の規模になるかは、まだ分からない。
- 他国の状況を見ると、オミクロン株以降の流行で、主にmRNAワクチンを用いている国においては、感染者数のピークは2,000～3,000人/人口百万人/日程度になっている。これを日本に当てはめると感染者数は250,000～380,000人/日程度、熊本県では3,500～5,200人/日程度となる。検査体制等も影響するため、単純にこの水準まで増加するとは考えないが、まだ増加の余地はあると考えられ、さらに医療への高い負荷を想定しなければならない。
- 地域の医療資源は、コロナ以外のものも含めて、人的にも物的にも有限である。例えば、熱中症による救急搬送が増加した場合、コロナの症状が急変した方を搬送できない例が出てくる可能性もあるほか、逆の事例も起こり得る。
- もちろん、医療関係者は全力で対応していくが、県民・市民の皆様におかれても、コロナの感染拡大期には、適切に医療を利用する（緊急性が高くない場合は、平日の通常診療時間に外来を利用するなど）ことや、医療機関にかからなくてもいいよう、健康により気を付けていただくことも重要となる。
- この流行状況においては、あらゆる方がどこで感染してもおかしくない。夏休みとなり、旅行や帰省を計画している方は、可能ならば、感染が少し落ち着くまで延期できないか検討していただきたい。普段会わない人との接触も増えると思われるが、高齢者などの重症化リスクの高い方と接する場合は、その方を守るためにも、事前に検査を行うとともに、体調がすぐれない場合は延期するような対応をお願いする。また、対象となっている方は、3回目・4回目のワクチン接種ステータスを最新のものとしていただくことも大切である。

3 県民の皆様へのお願い（7月22日発表）

熊本県リスクレベルは、**レベル2**です。また、感染状況は強い増加傾向にあります。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな手洗い・手指消毒、換気
- ③ 発熱時は仕事等を休み、すぐにかかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用を推奨する場面※は次のとおりです。
 - 屋内において、他者と距離（2m以上を目安）がとれない場合
 - 屋内において、他者と距離がとれるが会話を行う場合
 - 屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合
 - 重症化リスクの高い者と接する場合
- ・手洗い、換気、人と人との距離の確保等を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

※…特に夏場については、マスク着用が必要ない屋外の場面では、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨。
また、就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。

2 検査受検

わずかでも発熱などの症状がある方

外出せず、すぐにかかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

無料検査について



3 移動・外出

【移動】

・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。

※沖縄県に移動される方は、その前にワクチン3回目接種又は検査で陰性を確認することにご協力をお願いします(沖縄県・国からの呼びかけ)。

【外出】

・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。
・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

4 会食はリスク大！特に注意しましょう

・会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- ① 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- ② なるべく普段から一緒にいる人と
- ③ 人数を絞って



熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
➡ 感染防止対策を実施しているお店は、ステッカーの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。
※ 認証店は除きますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

認証店での会食の例

- 席の配置を1歩おのけにする
- アフカシ板や仕切り板を設置する
- テーブルを分ける

左記以外での会食

STEP2 食事前の下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに着席しましょう。

STEP3 会食中を下げる！

- 食事中でも、会話をする際はマスクを着用しましょう。
➡ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えますよう。
- 箸やコップの使いまわしは止めましょう。
- 痰は控えますよう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の席で参加者の気分が高揚し、マスクなしの会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 会食後を下げる！

- 長時間かつ深夜のほろ酔いは控えますよう。
- 帰宅後の手洗いなどにより、車内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、すくじかかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

- ・県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- ・感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- ・飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- ・宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- ・県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- ・同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。

【認証制度】

- ・感染防止対策が徹底されている「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



※…認証店における会食を除く。

6 イベント開催

- ・県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- ・参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率】の**いずれか小さい方**に制限してください。
- ・感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- ・感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

イベントの開催制限について



「大声」：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。「大声あり」：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当
詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

7 医療機関の受診

【適正受診】

- ・医療機関に負荷がかかっているため、コロナに関わらず、**緊急を要さない**と思われる場合は、平日の昼間の診療時間内に受診をするなどの御協力をお願いします。

【夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合】

- ・下記への電話相談をお願いします。

子ども医療電話相談事業	# 8 0 0 0	平日 : 午後7時から翌朝8時まで 土曜日 : 午後3時から翌朝8時まで 日・祝日 : 午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談事業	# 7 4 0 0	毎日 : 午後7時から翌朝8時まで

8 その他

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取り組み
- ・職場における感染防止のための取り組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底
- ・三つの密を発生させない取り組みへの協力

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取り組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼

高齢者等施設

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に、早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々には責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対のないよう、お願いします。

また、県では、基本的な感染防止対策として、マスクの着用をお願いしているところですが、障がいや病気などの様々な事情でマスク着用が困難な方がいらっしゃいます。県民の皆様におかれては、このような様々な事情により、マスクをつけられない方がいらっしゃることをご理解いただきますようお願いいたします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、感染拡大が継続し、これまでにない数の感染者が発生しております。

全ての年代において増加が見られておりますが、高齢者の感染者数の増加に伴い、病床使用率も上昇しており、医療提供体制への負荷が徐々に大きくなっている状況です。

今後、夏休みやお盆の時期を迎え、人流や人の接触機会が増加し、感染リスクが更に高まることが想定されることから、引き続き基本的な感染防止対策を徹底するなど、一人一人が感染リスクを下げる行動を取ることが必要です。

【対策】

- ✓ ワクチン接種の着実な実施（追加接種・小児接種等）
- ✓ 高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓ 保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓ 熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓ さらなる病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

- ・ 熊本市から熊本市民の皆様への要請は次のとおりです。
 - ✓ **家庭での感染防止対策**を徹底してください。
特に、**子ども及び高齢者への感染防止対策**を徹底してください。
 - ✓ **基本的な感染防止対策**を徹底してください。（手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用（※））
※…マスク着用が推奨される場面の詳細については、資料5ページをご参照ください。
 - ✓ 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人で行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。
 - ✓ 「**熊本県飲食店感染防止対策認証制度**」を活用してください。
 - ✓ 職場において、**業種別ガイドライン**等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。
また、**テレワークや時差出勤等に協力**してください。
 - ✓ **症状は無いが、感染に不安を感じる方（熊本県民に限る）**については、**熊本県が実施している無料PCR等検査**を受検していただくようお願いいたします。

本ページの内容の問い合わせ先

熊本市 新型コロナウイルス感染症対策課
問合せ先：岡島・田上・田口・富永

電話：096-364-3311